

稲田の子

修学旅行に行ってきました

校長 糊澤 実



去る9月14～15日の2日間の修学旅行が終わりました。6年生122名の子どもたちにとっては、思い出多き大切な学校行事であったと考えます。

私も小学校の修学旅行のことを、今でも覚えています。忘れられない思い出です。同じく札幌へ行きましたが、自主研修という位置付けはなく、狸小路で2時間くらい自由時間があり、お土産を買った記憶があります。お小遣いは、確か2000円でした。

さて、この修学旅行ですが、学校における位置付けは、特別活動になります。そこで、少しだけ詳しく説明することになります。

特別活動は、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の各内容から構成されています。そして、学校行事には、儀式的行事（入学式や卒業式など）、文化的行事（学習発表会、作品展示会、音楽会など）、健康安全・体育的行事（健康診断、避難訓練、運動会など）、遠足・集団宿泊的行事（遠足、宿泊学習、修学旅行など）、勤労生産・奉仕的行事（飼育栽培活動、校内美化活動、地域社会の清掃活動など）があります。

おわかりとおり、修学旅行はこの中では、遠足・集団宿泊的行事に当たります。実施上の留意点として、通常の学校生活で行うことのできる教育活動はできるだけ除き、その環境でしか実施できない教育活動を豊富に取り入れるよう工夫することです。

また、児童相互のかかわりを深め互いのことをより深く理解し、折り合いを付けるなどして人間関係などの諸問題を解決しながら、協調して生活することの大切さを学ぶことも含まれています。

修学旅行は、このような位置付けで、毎年学年の先生をはじめ多くの方の配慮のもとで実施されている行事なのです。集団による様々な体験（見学や自主研修、自由時間、ホテルでの生活など）の教育効果を期待して実施されました修学旅行が、児童にとって大切な思い出になったものと考えています。



今年も担当教諭を中心とした修学旅行の計画は、慎重に日程を組むことから、段取りや事前準備等を綿密に、また事前学習等もきめ細かく進めての実施となりました。また自然災害や事故、急病等、最悪の状況も想定しながら危機管理に努めて参りました。幸い大きな事故もなく、子どもたちは疲れた様子の中でも満足そうな笑顔でかえってきてくれたことが、何よりうれしいことでした。

保護者の皆さんにおかれましては、持ち物をはじめ、お子さんの健康管理等、担任との連絡調整等様々なご配慮に感謝申し上げます。この後、子どもたちは自主研修を中心としたまとめの学習を進めます。こちらをご期待ください。

全校参観日、来校ありがとうございました！

1年の折り返しとなるこの時期恒例の全校参観日が行われました。あいにくの雨天でグラウンドを駐車スペースに出来なかったことから、大変ご迷惑をおかけいたしました。保護者のみなさまにおかれましては本校の校務員をはじめとする教職員の誘導に従っていただくなど、ご理解とご協力により、限られたスペースに実に270台の車が見事に駐車され、大きな混乱なく今回もたくさんの皆さんに参観いただくことができました。

さて、お子さんの学校での様子はいかがだったでしょうか。担任の話をしっかり聞き、集中して学習に取り組む様子、目や心を使って、集団で学び合い、高め合う様子をご覧くださいませ。

まもなく前期の教育活動が終了します。今年より上半期の教育活動に関するアンケートを行います（後日、改めてお願いします）個別に、学校の取組等でお気づきのことやお子さんのことで気がかりなことなど、ご遠慮なく担任、学校へご相談下さい。学校とご家庭、そして地域が仲良く手を携えることが、子どもたちの確かな学びを創り、豊かな育みへとつながります。引き続きのご協力とお子さんの育ち、学校の取組に注目ください。30日からは学習発表会（10月21日開催）の特別時間割がスタートします。

写真下左：1年生 同右：ことり学級 それぞれの参観授業から。親子協働での学習も繰り広げられました。



混乱回避！駐車協力に感謝！

今、学校教育には、地域社会と連携・協働しながら子どもたちを育てていく「社会に開かれた」学びと教育環境づくりが求められています。こうした中、9月23日（金）に本校3階多目的室に「ふれあい美術館」がオープンしました。こけら落としとなる1回目の展示は、稲田っ子夏祭りのわたあめコーナーの運営や「いなっ子ワールド」で土曜や放課後の子どもたち居場所作り、花壇作りにもお力を貸していただいている稲田地区生涯学習推進委員会（委員長 中村 幸子さん 他12名）のみなさんに出展協力いただきました。

地域とのか（ナ）橋

ふれあい美術館オープン！



写真左：生涯学習推進委員のみなさん 写真中：ふれあい美術館風景 写真右：静かな穏やかな心落ち着く空間。何度でも見たい！

今回の展示作品数はおよそ60点。たくさんの作品の展示をいただきました。押し花を中心としたアートがとても目を引きまします。「ダイコン」をつかった作品もあるなど、画材の工夫も大変おもしろいものです。

本校の子どもたちの感性を育み、地域のサロンとして、学校・地域・家庭をつなぐ憩いの空間「ふれあい美術館」に、お忙しいことと思われましますが、みなさんでどうぞお立ち寄り下さい。（連絡先：稲田小学校 教頭 黒島 TEL 48-5454）

なお、今後は校内にとどまらず、地域開放型の施設として、美術作品にとどまらず、年代を問わない学校、地域のみなさんが生み出す作品の展示を計画しています。地域のみなさんが織りなす稲田の文化の香りを楽しみに、どうぞご期待下さい。

来週から10月。帰宅時刻は4時です

朝夕の冷え込みとともに、少しずつ稲田の杜からの落ち葉が舞降る季節となりました。来週からは10月、日暮れ時が早くなってきています。10月からは帰宅時刻は夕方4時のきまりとなっていますので、改めてお子さんへの声かけをどうぞお願いします。またお子さんの安心安全を守るため、帰宅時刻をはじめ、外出先や誰と出かけるかの確認等、引き続きお子さんの安心安全な校外生活を守るためのご協力をよろしくお願いします。

なお、校区外の店舗へ子どもだけの出入りが見られる等、心配される情報も寄せられています。これらのことの本校でのきまりは改めて整理してお知らせいたしますが、近隣劇団にかかわらず、子どもたちだけの校区外へ出かけることは、事故・事件に巻き込まれることへの未然防止の観点から、全市的に原則禁じられています。改めて親子での確認をお願いします。